

議 長 会議を再開します。 (午後 1時30分)
続いて、片岡議員の一般質問を行います。6番片岡議員。

6番 片岡議員 6番片岡です。初めに7月、(咳き込まれて)のど飴を舐めたんですが。7月豪雨で被災されました皆さんに対し、心よりお見舞いを申し上げます。また今日に至るまで全国で台風、豪雨、地震などにより甚大な被害が出ております。姉妹都市縁組みを結んでおります坂町におきましても、想像を絶する被害が出ております。我が中新町におきましても、有志を募り7名でボランティアに行って参りました。川本での体験でちょっと私では無理かなと思いつながら行きましたけども、10分働いて10分休む。これが非常に徹底されて無理なく作業をする事が出来ました。町におきましても毎週ボランティアの募集をしております。個人でも団体でもOKだそうですので、余力のある方は是非行って見て下さい。天気も良くなって参りましたし、ボランティア季節になって参りました。どうか川本町の皆さんも、皆さんで助け合いをするという事で、坂町へ行きましょう。

前段が長くなりましたが、通告書に従いまして3点の質問を致します。

1点目の質問は、「水道管老朽化に対する取組を問う」ものであります。報道によりますと、全国の水道管総延長の6分の1が設置から40年以上経過しており、地震などの刺激で破損、亀裂がいつ起きても不思議はない状態だそうであります。川本町の現状と対策をお尋ねします。

2点目の質問は、「大雨による洪水等が予想される時のダムの貯水量の調節について問う」ものであります。町民の素朴な疑問として、大雨が予想される時、前倒しでダムの水の放出量を調節して、ダムに余裕を持たせる事が出来ないかというものであります。それが出来るようになれば、大雨にも堤防決壊の心配が、可成り軽減出来るのではないかと考えております。町の考え方を問います。

3点目の質問は、「電力自由化に伴い、電気料削減の検証の有無を問う」ものであります。2016年4月から電力自由化が始まり、既に2年を経過をしました。経費節減の一環として、費用対効果の検証を行っているか。又、行っていれば、その経過と結果を伺います。

以上、3点について回答を求めます。

議 長 片岡議員の質問のうち、1項目目の「水道管老朽化に対する取組を問う」に対する、答弁をお願い致します。番外宇山地域整備課長。

番外宇山地域整備課長 片岡議員からご質問のありました「水道管老朽化に対する取り組みを問う。」について、お答え致します。

川本町の水道事業は、昭和33年の弓市地区の上水道事業開始から60年が経過をしております。平成10年度から平成12年度に因原・川本地区の

番外宇山地域整備課長 石綿管更新、同時期に三原地区において農業集落排水処理施設整備時に、平成18・19年度に三俣・湯谷地区にて管路を更新しております。平成22年に川本町水道ビジョンを策定し、町内の水道施設の統合や管路更新の計画を立てております。平成23年度から平成27年度に国の簡易水道再編推進事業補助金を使い、小谷・田原・田窪（中石・上石）・北佐木（共栄）地区の管路更新を行っております。直近においては、昨年度、同じく国の簡易水道事業再編推進事業補助金を用い、川本東大橋、因原地区の基幹管路部分を地震に耐える管路に更新を行いました。未改良部分も未だ残っておりますが、今後も引き続き更新をして参ります。

議長 再質問がありますか。6番片岡議員。

6番片岡議員 ちょうどこれはBSの報道番組でやっておったのを見まして、私が監査をやっている時に川本町の有収率ですね、これが非常に少なかったのを覚えておりました、これは大変だと思って確認しようと思った訳であります。調べ直して見ましたところ、平成23年の有収率が59.8%で、一番低かったようであります。それから現在80%まで回復しているようですが、先ほど宇山課長からも説明がありましたように計画的な更新、或いは改修、そういった国の制度を使いながら改良が行われていたようであります。この結果、水道管というのが私の血管と同じように非常に脆弱になっていて、中にプラークがいっぱい溜まっているそうなんです、だいたい課長なんかも取り替えられた水道管を見られた時にやっぱり水道管そのものが非常に脆くなっていますか。

議長 番外宇山地域整備課長。

番外宇山地域整備課長 実際に管の中を覗いてみたという事は、私自身はございませんが、担当の方に聞きましたところ東大橋の管路を更新した時には、可成り中には錆が溜まっていたという話は確認をしております。

議長 6番片岡議員。

6番片岡議員 有収率に改善が、この5、6年において20%近く改善されている訳ですが、これは先ほど課長が説明されたそういった管の取り替えによって改善されたというふうに、理解してよろしいですか。

議長 番外宇山地域整備課長。

番外宇山地域整備課長 はい、管路の更新によって改善されたと考えております。

議 長	再質問ありますか。6番片岡議員。
6番 片岡議員	その時の報道によりますと、水道管を一斉に取り替えるとなると、現在の水道料の5倍から6倍になるというふうな試算をされておりました。我が川本町におきましては、そういう心配はないという事で、先ほどの宇山課長の説明でよろしいでしょうか。
議 長	番外宇山地域整備課長。
番外宇山地 域整備課長	現在の状況でいけば、問題はないと思われまして。
議 長	再質問ありますか。 (「1項目めは終わります。」の声あり)
々	以上で、1項目めの「水道管老朽化に対する取組を問う」の質問を終了します。
々	次に、2項目の「大雨による洪水等が予想される時のダムの貯水量の調整について問う」に対する、答弁をお願い致します。 番外森川総務財政課長。
番外森川総 務財政課長	<p>それでは、片岡議員の「大雨による洪水等が予想される時のダムの貯水量の調整について問う」にお答えを致します。</p> <p>議員のご質問は、大雨が予想されるときに前倒しでダムの水の放流を調整し、ダムに余裕を持たせるよう中国電力に依頼できないかというお尋ねでございました。まず、浜原ダムについてでございます。中国電力が明塚発電所で水力発電をするために、昭和28年に建設をされたダムでございます。</p> <p>昭和26年に国営の電力会社の解体に伴いまして、民間電力会社はその役割を託され、中国地方では中国電力がその当時に必要性が増大した電源開発を推進するため、江の川水系の地形的に適地であった、現在の美郷町に建設をされたものであります。浜原ダムの事につきまして、中国電力の方に確認をしましたところ、浜原ダムは水力発電のダムのため、江の川の上流域広島県側にあるような治水ダムとは違い、ダムでの水量調整は殆どできないとのことございました。ダムの高さは19メートルございますが、水力発電で利用している実際の利用範囲は、ダム上部の2メートルであります。また、放水ゲートもダムの高い位置に設置してありますので、事前に放流しても洪水時にダムで貯めることのできる水量は、ダム全体からするとわずかなもので、水量調整効果は期待できないようでございます。その中でも洪水時には、予備放流ということで利用範囲の下限まで水位を下げるように事前に放流をされるようで、7月豪雨時にも事前放流を行われました。しかしながらその</p>

番外森川総務財政課長 容量はわずかでございますので、その後は、上流からの急な増水によりダムに入ってくる水量をそのまま放流するという状況であったようでございます。このようにダムでの調整は難しいとのことではございましたが、少しでも放流する水量調整の方法はないか、これにつきまして江の川下流域期成同盟会でも、7月豪雨後にすぐに行った県知事、県議会議長への治水事業緊急要望時に合わせて、この浜原ダムのことにつきましても要望を行いました。また中国電力へも浜原ダムの事につきまして要望したところでございます。今後も江の川の洪水対策については、近隣の市町と連携して取り組んでまいりたいと考えております。以上でございます。

議 長 再質問がありますか。6番片岡議員。

6番片岡議員 この質問も、やはり今回のいろんな各地域の災害を見て、あるダムで放水をして効果を上げたと。ダムを空の状態にして、効果を上げたという話を聞いて、これは浜原ダムでもどうかなっていう事で質問した訳ですが、機能上、無理という事で、これはもう致し方ないという事でありまして。下流域治水期成同盟がこの無堤防区間の解消をするように、要望書を出しておりますが、合わせてこちらのダムの放水についても考慮していただくように、お願いできないかなという主旨の提案をしようと思っておりましたが、それは無理という事が分かりましたので、これはこれでしょうがありません。これとはちょっと話が逸れますが、坂町でボランティアをしていた時に聞いたんですが、大きな被害が出ましたけれども、坂町でも避難勧告・避難指示と出たそうです。ただ避難勧告・避難指示に従わなかった人がたくさん居られたそうです。たぶん岡山県の真備町ですか、そこでも避難指示に従わなかった人がたくさん出ています。ただ川本町、私たちがふるさと会館に避難した訳ですが、各町単位で集団避難、これが訓練のとおりによく出来ていて、非常に良かったなと思います。坂町で話を聞いて指導するような人も実際に逃げなかったという事を聞いています。ですから川本町の場合は昔から災害に実際に遭っていますので、非常にそういった訓練とか事前の周知とか情報の伝達とか非常に上手くいっていると思いますので、これからも反省をしながら続けていっていただきたいと思います。これで、この質問は終わります。

議 長 以上で、2項目めの「大雨による洪水等が予想される時のダムの貯水量の調整について問う」の質問を終了します。

々 次に、3項目めの「電力自由化に伴い、電気料削減の検証の有無を問う」に対する、答弁をお願い致します。番外高良町民生活課長。

番外高良町民生活課長 片岡議員の3項目め「電力自由化に伴い、電気料削減の検証の有無を問う」についてお答え致します。

番外高良町
民生活課長

国の規制緩和の一つである電力自由化につきましては、平成12年以降、段階的に進められてきましたが、東日本大震災を背景に、平成28年4月から、全面自由化が図られております。これを受け、本町における対応でございますが、従来から契約している電力会社である中国電力からの提案、あるいは、新たな小売電気事業者から新電力の提案を受けながら、対応しているところでございます。

具体的な取り組みにつきまして申し上げます。

川本小学校及び中学校、悠邑ふるさと会館、川本運動公園、学校給食センターの5つの施設では、中国電力の提案を受け、平成29年度から3年間の長期契約を行うことにより、新電力に比べ、得策であると判断し、経費削減を図っているところであります。

総額で、年間約120万円の電気料金が削減できると見込まれております。

また、湯谷温泉・弥山荘では、指定管理者側から、運営経費節減の一つとして、電力契約会社の変更の申し出があり、今年度から、新たな小売電気事業者への移行を承認しております。以上でございます。

議 長

再質問ありますか。6番片岡議員。

6番
片岡議員

徐々にではありますが、そういった改善がなされているという事で承りました。役場庁舎、悠邑ふるさと会館、音戯館、小中学校、保育園、弥山荘、道の駅等々、総額でおそらく2千万円以上に電気料がなると思うんですが、こういった事で、今5箇所の改善で、マイナス120万、という事になっていると思います。こういった事が着々と為されていけば、こういったどう言いますかね、税金の無駄遣いを無くすという事で、変えた後の検証も行っていただきたいと思います。今5箇所でマイナス120万という事は、これは%にすると何%ぐらいになるんですか。1%ぐらい。

議 長

番外瀬上教育課長。

番外瀬上教
育課長

先ほどの質問ですが、5箇所で120万という事で、5箇所だけで見ますと、これは基本料金の3%削減という事になっておりまして、その3%減という事になっております。すみません、基本料金の3%なんで、もうちょっと低い率だと思えます。

議 長

再質問ありますか。6番片岡議員。

6番
片岡議員

弥山荘では新電電の事を考えて新会社ですかね、それを考えておられるようですが。町においては如何でしょうか。私の周りでもですね、電力会社を変えたという人が居られないんですよ。たぶん市町村においても無いんじゃないかなと思うんですが、今回、私こういう事を聞いたのは一回変える事に

6 番
片岡議員

よって、中電に対するどうかプレッシャーというか、そういう事が出来るんじゃないかなと思って質問したんです。今まで中電との契約で非常に疑問に思っていたのが、デマンド値による電力の設定というのがありますね。それと球場の電気の問題がありましたね、今はバッテリーじゃないポンプでもないわ、発電機でやってますが、あれもどう言いますか年間お金を払わなくちゃいけないという非常に合理性に欠ける値段の設定で、中電の言うなりにならなければならなかった。それで今回1回、新電電に変えてみる事によって、そういう事も一回打開の道が出来るんじゃないかなという意味で質問を考えて見ました。そういった言葉も視野に入れていきますか。これ弥山荘だけが新電電ですが、他にもありますよね。音戯館もあれば、道の駅もある、保育園も、保育園はやったのかな。如何ですかね。そういった考えは。

議 長

番外森川総務財政課長。

番外森川総務財政課長

議員ご質問の他の施設につきましても、新電力の考えはという事でございます。これにつきまして、実際に庁舎の方は新電力という事になってはございませんけれども、ちょうど6月にですね新電力の会社の方に来ていただいて、その1つの会社でございますけれども、管理職の方でちょっと学習会をさせていただいて、どういった取組があるのか、そこの会社の提案ではございましたけれども、そういった今、勉強もしながらですね、なかなか十分に理解出来ていないところもありましたので、それをよく検証しながら他の施設にもですね、取り組んでいければというふうには考えております。

議 長

再質問ありますか。6番片岡議員。

6 番
片岡議員

今までの取組として、今の森川課長の話もそうですし、町民生活課長の話もそうですし、随時、取り組んでおられたという事で、私は安心致しました。株式会社川本町の意識を持っていただいて、町税、税金の無駄遣いのないように、少しでも皆さんの税金が有効に使われるように考えていただければと思って、こういう質問を致しました。どうか、これからも電力だけに係わらずいろいろな意味で節電出来るところは節減されてですね、冗費の節約に取り組んでいただきたいと思います。以上で終わります。

議 長

以上で、3項目めの「電力自由化に伴い、電気料削減の検証の有無を問う」の質問を終了します。

々

これをもちまして、片岡議員一般質問を終了致します。

々

以上をもって、本日の議事日程はすべて終了致しました。お疲れ様でございました。
(午後 1時56分)

この会議録は、川本町議会事務局長 櫻本 博志 が記載したもので、その内容
において、正確である旨を証するためここに署名をする。

川本町議会議長

川本町議会議員

川本町議会議員